

非接触型電子体温計を寄付！

松浦市建設業協同組合は6月22日、松浦市へ電子体温計を30個寄付しました。

寄付された体温計は非接触型で、額や首から数センチ離してスイッチを押すと速やかに体温を測定することが可能です。

関眞弓理事長は「コロナ禍の中で何か役に立ってないかと考えていたところ、非接触型の体温計がなかなか手に入らないと聞いて、寄付することにしました。今後市の行事等で活用していただければ嬉しいです」と話していました。



寄付された電子体温計▶



市長旗小学生バレーボール大会

第15回市長旗バレーボール大会（松浦市小学生バレーボール連盟主催）が6月20日、福島体育館で開催されました。

同大会は、毎年4月に行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、約2か月遅れの開催となりました。

市内の小学校から6チーム約60人の児童が参加し軽快なプレーを見せました。大会の成績は次のとおりです。

【優勝】新星クラブ 【準優勝】福島クラブ
【第3位】青葉クラブ、鷹島クラブ



給食に地元の魚を！

6月の小中学校の給食は、市内で養殖されたハマチとマダイを使った献立が提供されました。

この取り組みは、子どもたちへの魚食普及を図ろうと、新松浦漁業協同組合が企画。11日と15日にハマチの照り焼きと南蛮漬け、25日にはマヨネーズやねぎソースを使った献立が提供されました。子どもたちは「給食では初めて見た」と嬉しそうに、地元の水産物を味わっていました。

▼6月25日 マダイのねぎソースかけ



たくさんのプラレールをありがとう

松浦市出身で現在大分県に住む寺澤雅樹さんは6月22日、市内の子どもたちが集う場所へたくさんのプラレール（鉄道おもちゃ）を寄贈しました。寺澤さんは「市内の子どもたちが自由に遊び、物を大事にする習慣を身につけてほしい」と話しました。

市では寄贈されたプラレールを、市立児童館やみんなの子育て広場 URACCO、保健センターなどの子どもたちの集まる場所に配置したほか、健診等の際のキッズスペースにも準備する予定です。



◀ URACCO で遊ぶ親子



教育振興基金を寄付！

道の駅「松浦海のふるさと館」を運営する、松浦物産株式会社（川上茂男代表取締役）は6月29日、教育振興に役立ててほしいと、松浦市へ寄付しました。

川上代表は「昨年の鷹島小学校に続き、今年には福島養源小学校が、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞しました。2年連続での受賞は大変素晴らしいと思います。寄付金は、松浦市の未来を担う子どもたちの健全育成に役立ててほしい。」と話しました。



松浦タータンチェックのマスクを贈呈

株式会社エミネントスラックスは6月29日、松浦高校へ310枚のマスクを寄贈しました。

寄贈されたマスクは、同社の従業員によって手作りされ、松浦高校の制服に用いられているタータンチェック柄「松浦タータン」の生地が使われています。同社の代表取締役高野圭右会長は「裏地がメッシュになっており快適。着用すると、トータルコーディネートとなり制服にぴったり。コロナに負けず頑張してほしい」と、松高生へエールを送りました。



グラウンド・ゴルフで楽しい一日！

第15回松浦市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会（同会主催、郵便局長協会共催）が7月1日、福島総合運動公園で開催されました。

この大会は、グラウンド・ゴルフを通じて会員相互の親睦と健康増進を図ることを目的に毎年開催されています。

この日は、約160人が参加し、熱戦を繰り広げました。上位結果は次のとおりです。

【男子】①松尾昭一 ②佐藤力 ③眞島鎮馬

【女子】①吉本智恵 ②近藤暁子 ③村本ナル子



音響機器を贈呈

氏山昌明さん（御厨・寺ノ尾中）は6月30日、母校である御厨中学校へ、スピーカーやワイヤレスマイク、ミキサーなどの音響機器を贈呈しました。

贈呈式の後、氏山さんは音響機器を使い、明るい音楽を流しながら、皿回しやロードコーンを顎に乗せる「チンバランス」を披露。在校生からは大きな歓声が上がりました。氏山さんは「今の自分にできることを探して、精一杯やってほしい。」と、後輩たちを激励しました。

